

ホタルの鑑賞会

平家ポタル

2008.7.20

ホタルが減ってしまった理由

ホタルの幼虫は、水のきれいな場所でしか生きられません。川の水を汚したり、ゴミを捨てたり、農薬を使ったりして減ってしまいました。スカウト田んぼは、無農薬で稲を育てているので、虫に食べられたり、病気になったりして、たぶん米は少ししか取れないでしょう。でも、少ない面積ですが、1年のうち約1ヶ月間だけホタルを観るために田んぼを作るのも、地球環境保護につながれば良いし、今後もスカウトたちに自然の大切さを継承できれば満足です。ちなみに、日本全国でホタルの田んぼを持っている回は、うちだけでしょう！これは、自慢できるぞ！

ホタルはなぜ光るの？

オスとメスが出会うための合図を光で交信(オス・メスどちらも光ります)するそうです。メスが草むらや飛びながらオスを光で呼ぶそうです。M副長の観察では、今年は7月5日ごろから羽化が始まり、19:30頃から地面に近い箇所でも光り始め、19:45頃から飛翔が始まるようで、20:00を過ぎるころには、ペアが見つかり草に止まる光ります。

ホタルはどんなところにいるの？

ホタルは、湿度が90%以上のところが好きで、雨上がりの蒸し暑い風の無い日に活動します。反対に、気温と湿度が低く月明かりのある日や、雨の日、風の強い日は、じっとしているそうです。今回は、ほぼ満月に近いので見ごろは7月下旬から8月上旬かな。

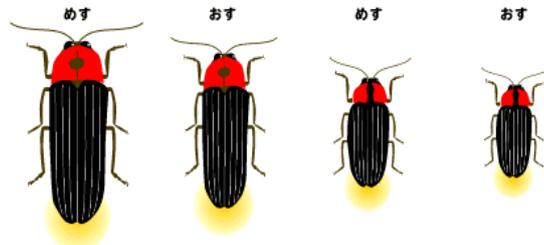
ホタルの一生



ホタルの

ゲンジ(源氏)ポタル

へイケ(平家)ポタル



●ゲンジボ

ゲンジポタルは、体長12~18mmで日本最大のホタルです。きれいな流れのある川に住んでいます。背面前胸に十字形の模様があるのが特長です。へイケポタルより体が大きいです。

●へイケボ

へイケポタルは、体長7~10mmで水田や用水路、小川などに住んでいます。背面前胸の模様は直線形です。スカウト田んぼにいるのはこれです。

集合すると、ホタルポイントに先客がいるではないですか！「うしく里山の会」の鑑賞会でした。スカウト田んぼ造りも、地主さまが「うしく里山の会」から依頼されたのだ。土手の草は機械で見事に刈られていました。ボーイ隊長は、この日のために、汗で全身ずぶ濡れになりながらポイントまでのルートの手刈りしてくれたのですが、ボ隊:「刈らなければ良かった。」ガックリ。でも、今回は約30匹(主催者発表)の姿を見れてみんなが「スゴイ！牛久にホタルがいたんだ！」と感動してくれて、喜ぶ姿を見ると、開墾・田お越しと田植えで腰が痛くなったのを一時忘れるボーイ隊長とM副長であった。ボーイ隊長は、大河ドラマ「篤姫」を見るために満足して早めに帰宅です。父兄からは、ぜひ、ガタリンピックや田植えをしたいとの要望もありましたので、来年も頑張るべー！



ホタルの発光のようすは、M副長のデジカメでは撮影できないので今回の写真はこれだけです。やはり自分の目で見て感動してください。



ビーバー隊長から貰ったカブトムシは、サナギになりました。まもなく羽化します。